

平成17年度海洋研究開発機構研究報告会JAMSTEC2006
「ちきゅう」発進 -海底下7000mへの挑戦-
開催について

海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）は、平成17年度研究報告会『JAMSTEC2006』を下記により開催いたします。

この研究報告会は、当機構の活動状況と成果概要、今後の計画などを一般の方々に紹介する目的で、毎年開催しています。

本年度は、『「ちきゅう」発進 -海底下7000mへの挑戦-』と題して、地球深部探査船「ちきゅう」の最新映像や、最新鋭の掘削技術、期待される成果を紹介致します。

また、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油・天然ガス開発技術調査グループ グループリーダーの伊藤充氏をお招きし、「海洋石油開発の動向について」と題した特別講演を予定しております。

入場無料、事前登録は不要です。

記

1. 開催日時 平成18年2月8日（水）14:00～17:30
2. 開催場所 経団連会館14階 経団連ホール（定員472名）
東京都千代田区大手町1-9-4
（地下鉄「大手町駅」A1出口徒歩1分）
TEL 03(5204)1500（大代表）
3. 研究報告会の概要
 - (1)地球深部探査船「ちきゅう」の最新映像展示
 - (2)海底下7000mのマンテル到達を目指す掘削技術
 - (3)掘削試料「コア」の最先端研究施設「高知コア研究所」のご紹介
 - (4)南海トラフ巨大地震発生帯における深海掘削で期待される成果
 - (5)地球環境変動の解明で期待される成果
 - (6)深海掘削の技術を開拓してきた海洋石油開発の歴史、最新技術
 - (7)平成17年度における当機構の最新研究成果のポスター展示発表
4. プログラム [別添](#)をご参照下さい。
5. 参考資料 講演者の紹介 ([別紙](#))

問い合わせ先：

海洋研究開発機構

経営企画室評価交流課 課長 竹田健児 電話046(867)9233

経営企画室報道室 室長 大嶋真司 電話046(867)9193

参考資料

講演者の紹介

伊藤 充 （特別講演講師）

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

石油・天然ガス開発技術調査グループ グループリーダー

アラブ首長国連邦とカタールの国境を跨ぐ海洋油田であるブンドク油田の操業に従事。石油公団ロンドン事務所長を経て2005年7月より現職。石油・天然ガス探鉱・開発プロジェクト支援のための国内外における地質構造調査や技術審査業務を統括・指揮している。

平 朝彦
地球深部探査センター センター長

地球深部探査船「ちきゅう」により海底下7,000m、人類未到のマントルへの到達など我が国が主導し推進する国際共同プロジェクトIODP（統合国際深海掘削計画）の推進により人類の未来に指針と希望を与える成果を目指す。

東 垣
高知コア研究所 所長

昨年11月設立された高知コア研究所において「ちきゅう」で採取されたコアを中心に掘削コア試料の分析、研究、保管という一連のプロセスを実施する国際的な研究拠点の確立を目指す。平成16年度に実施したスマトラ沖大地震緊急調査も指揮。

金田 義行
地球内部変動研究センター プレート挙動解析研究プログラム プログラムディレクター

南海トラフでの「ちきゅう」による深海掘削により海溝型巨大地震の発生メカニズムの解明とともに掘削孔に観測機器を設置したモニタリングシステムの確立を目指す。これまで地震波を活用した構造探査により南海トラフの深部構造の解析や大陸棚調査にも参画。

北里 洋
地球内部変動研究センター 地球古環境変動研究プログラム プログラムディレクター

深海掘削により得られる地球環境変動が記録されたコア試料から、過去の地球の姿、特に白亜紀の地球環境変動の解明により温室期地球システムのメカニズムと地球内部活動がもたらす環境変動への関わりの解明を目指す。